

Weekly Report

(2013 年 2 月第 5 週)

光世証券株式会社

株式市場概況

● 先週（2/18 － 2/22）の動き

G20 で日本が名指しで批判されなかったことから、週初は円が売られた。それを好感し日経平均株価は上昇したが、その後、為替に方向感がなくなると、株価は 1 万 1,200 円～1 万 1,500 円の高値圏でもみ合いとなった。日経平均は前週末比+1.85%の 11,385 円で一週間の取引を終えた。

セクター動向は、上昇にゴム製品、パルプ紙、石油石炭が入った。これらは来期の業績回復を予想するレポートが買い要因となった。下落は鉄鋼、非鉄、鉱業など商品関連となった。中国の需要減少懸念の台頭が売り材料となった。スタイルインデックスからは小型買い、大型売りがあったことが分かる。

セクター動向(先週末比)		各種国内株式指数動向(先週末比)			
ゴム製品	10.59%	鉄鋼	-2.75%	マザーズ	7.37%
パルプ紙	9.84%	非鉄金属	-1.52%	TOPIXスモール	3.93%
陸運	5.88%	鉱業	-0.17%	REIT指数	3.57%
石油石炭	5.75%	卸売業	0.37%	東証2部	3.40%
繊維製品	4.75%	輸送用機器	0.61%	ミッド400	3.36%
サービス業	4.55%	電気機器	0.83%	TOPIXグロース	2.47%
				TOPIXL70	2.41%
				TOPIX	2.24%
				TOPIXバリュー	2.01%
				日経平均株価	1.90%
				コア30	0.89%

● 各国の主要経済指標

通関ベース貿易収支（1 月）は－1 兆 6,294 億円（予想－1 兆 3,796 億・前月－6,415 億→－6,433 億）、季節調整済み値は－6,789 億円（予－5,867 億・前－8,007 億→－7,838 億）と赤字幅が予想を上回った。輸出総額（1 月・前年比）は 6.4%（予 5.6%・前－5.8%）、輸入総額（1 月・前年比）は 7.3%（予 2.1%・前 1.9%）と両者とも予想を上回る伸びを見せた。日本の全国百貨店売上高（1 月・前年比）は 0.2%（前月－1.3%）となった。全産業活動指数（12 月・前月比）は 1.8%（予 1.7%・前－0.3%→－0.4%）と改善を示した。

米国の NAHB 住宅指数（2 月）は 46（予 48・前 47）と予想外の落ち込みを示した。住宅着工（1 月）も 89 万（予 92 万・前 95.4 万→97.3 万）と予想を下回ったものの、一軒家が増加傾向にあることが好感された。建設許可件数（1 月）は 92.5 万（予 92 万・前 90.3 万→90.9 万）、中古住宅販売件数（1 月）は 492 万（予 490 万・前 494 万→490 万）とほぼ予想通りとなった。フィラデルフィア連銀景況調査（2 月）は－12.5（予 1.0・前－5.8）と予想を大幅に下回った。内訳から新規受注や受注残の低下が原因であることが分かる。しかし、先行き予想は改善が継続しており、今後の動向に注目したいところだ。

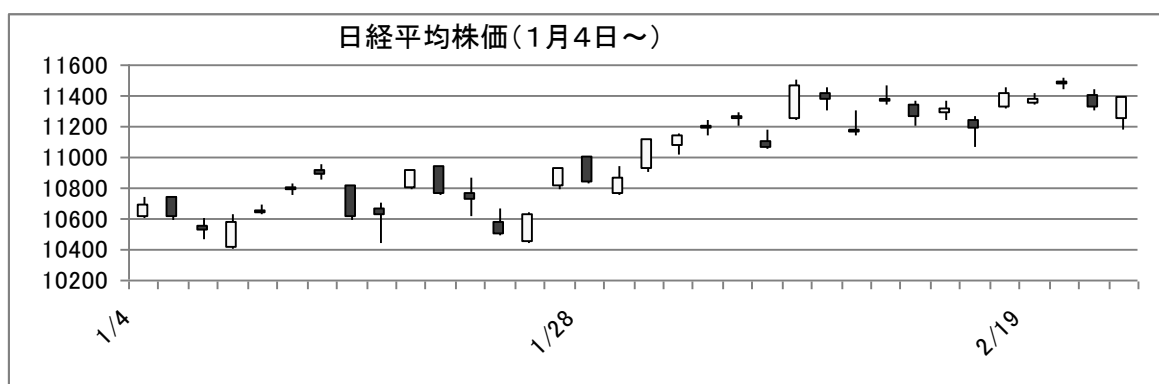
ドイツの ZEW 景況感調査（2 月）は 48.2（予 35・前 31.5）と大きく改善を示した。詳細からは、現況は変わらないものの、先行き期待の値が大きく伸び、指標の改善につながったことが分かる。PMI 製造業（2 月）はフランス 43.6（予 43.8・前 42.9）、ドイツ 50.1（予 50.5・前 49.8）、EU47.8（予 48.5・前 47.9）と全て予想を下回った。PMI サービス業（2 月）はフ

ランス 42.7 (予 44.4・前 43.6)、ドイツ 54.1 (予 55.5・前 55.7)、EU47.3 (予 49・前 48.6) とこちらも全て予想を下回った。

今後の注目材料

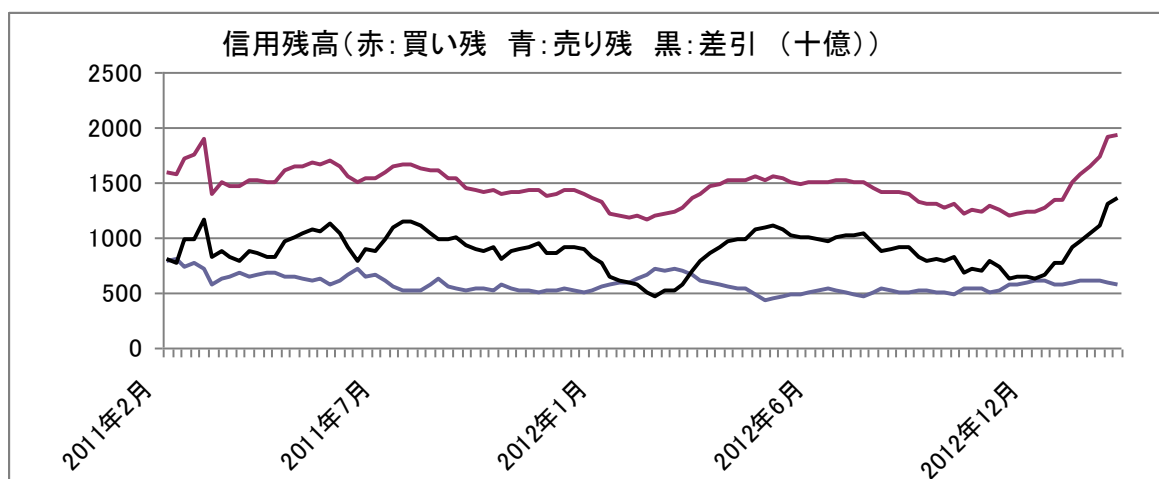
日経平均が 1 万 1,200 円を割り込むと買いが入ってくる展開が継続している。投資部門別売買動向では海外投資家の買いも継続しており、国内個人もここ最近買いに転換し、中々底堅くなっている。3 月 1 日に迫った米国の財政問題が不安だが、それを無事乗り越えられるなら、今月に入ってからレンジを上抜ける可能性が高まる。

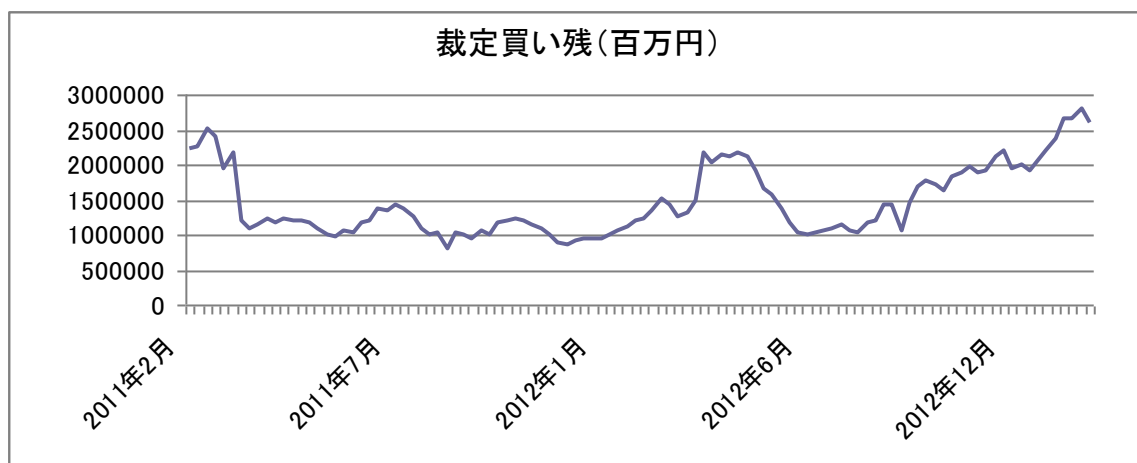
他にも、次期日銀総裁候補の話題や、日米首脳会談で TPP に関してどのような感触が得られるかなど、今週は相場を動かす材料が多い。



株式市場の需給動向（前週分）

投資部門別売買動向は、個人、海外投資家の買いとその他の売りで変わらず。裁定買い残高は前回、前々回と大きく増加した2週間分が訂正され、2兆6千億円まで減少した。信用買い残はペースが落ちたものの増加継続。





	自己	委託	投資信託	事業法人	信託銀行	個人	海外投資家
2013/2/15	11.01	-18.36	-28.18	-3.27	-219.08	80.19	182.85
2013/2/8	-127.42	123.03	-2.94	3.10	-108.77	129.48	150.68
2013/2/1	41.15	-31.57	-47.63	-10.19	-170.91	-114.36	382.07
2013/1/25	20.44	-29.78	-9.38	1.06	-161.35	-9.83	199.16
2013/1/18	82.21	-81.90	-36.73	-9.94	-164.53	-12.33	213.81
2013/1/11	22.39	-25.60	-42.79	3.54	-210.17	39.43	252.50
2013/1/4	-17.17	18.49	-17.64	-5.24	-42.12	-77.51	190.40

光世証券 小川 英幸

本資料は、情報提供のみを目的として作成したもので、いかなる有価証券等の売買の勧誘を目的としたものではありません。また、一般的あるいは特定の投資助言を行うものでもありません。本資料は、信頼できると判断した情報源から入手した情報・データ等をもとに作成しておりますが、これらの情報・データ等また本資料の内容の正確性、適時性、完全性等を保証するものではありません。情報が不完全な場合または要約されている場合もあります。本資料に掲載されたデータ・統計等のうち作成者・出所が明記されていないものは、当社により作成されたものです。本資料に掲載された見解や予測は、本資料作成時のものであり予告なしに変更されます。運用方針・資産配分等は、参考情報であり予告なしに変更されます。過去の実績は将来の成果を予測あるいは保証するものではありません。

光世証券株式会社 金融商品取引業者 近畿財務局長（金商）第14号
加入協会／日本証券業協会